

新訂
尋常小學唱歌
伴奏附

第二學年用

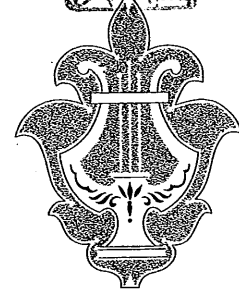


文 部 省

K130.7
3.1
2

新訂
尋常小學唱歌

伴奏附
第二學年用



文部省

緒 言

- 一、本書ハ音楽教育ノ進歩ト時代ノ要求トニ鑑ミ、從來本省著作ニ係ル「尋常小學唱歌」ニ改訂ヲ加ヘタルモノナリ。
- 二、本書ハ每卷二十七章トシ、取扱者ニ選擇ノ餘地ヲ與ヘタリ。
- 三、本書ノ歌詞ハ、舊歌詞中ノ適切ナルモノ、新作ニ係ルモノ、及ビ^{尋常}國語讀本・尋常小學讀本中ノ韻文ノ一部ヨリ成ル。
- 四、本書ノ歌詞ハ努メテ材料ヲ各方面ニ採リ、文體・用語等ハ成ルベク讀本ト歩調ヲ一ニセンコトヲ期セリ。
- 五、本書ノ教材排列ハ強ヒテ程度ノ難易ノミニヨラズ、一面季節ニツキテモ考慮セリ。
- 六、本書ハ取扱者ノ便宜ノタメ、唱歌曲ノミノ樂譜ヲ掲ゲタルモノト、伴奏附ノ樂譜ヲ掲ゲタルモノト、二種類ヲ作製セリ。教授ニ際シテハ其ノ何レヲ採用スルモ可ナリ。
- 七、伴奏附ノ樂譜ヲ使用スル場合ニハ、前奏・後奏ノ如キハ時トシテ省略スルモ可ナリ。

昭和七年四月

文 部 省

目 次

一 櫻	2
二 ラヂオ	4
三 二宮金次郎	6
四 雲 雀	8
五 折 紙	10
六 小 馬	14
七 田 植	16
八 竹の子	18
九 雨	20
一〇 金 魚	22
一一 蟬	24
一二 蛙と蜘蛛	26
一三 こだま	28
一四 浦島太郎	30
一五 ポプラ	32
一六 かけっこ	36
一七 案山子	38
一八 が ん	40
一九 富士山	42
二〇 影法師	44
二一 紅 葉	46
二二 時計の歌	48
二三 うちの子ねこ	50
二四 雪	52
二五 梅に鶯	54
二六 母の心	56
二七 那須餘一	60

櫻

♩ = 112

櫻

一カスミニーツツクハハナノクモ
ニむかふのやまのはやまざくら

ノヤマニツモルハハナノユキ
こちらのをかのはやへざくら

ハールノシグツハツツクシヤ
やへもひとへもうつくしや

二

櫻

ドチラムイテモハナバカリ
はなはこのはなさくらばな

一、櫻

一、霞につづくは花の雲

野山につもるは花の雪

春の四月はうつくしや

どちら向いても花ばかり

二、向かふの山のは山櫻

こちらの岡のは八重櫻

八重も一重もうつくしや

花はこの花、
櫻花、
櫻花。

三

ラヂオ

ラヂオ

♩ = 70

一 ア サノ ラヂオがマッ—シマス
ニ ばんのらぢおがまう—します

ミナサン オハヤツ ゴザイマス
みなさん おまちどほ—でした

四

サア ハジマツ タ ラヂオノタイツク
さあ はじまつ た こどものじかん

ラヂオ

ミナデヤリマセウ ゲンキニヤリマセウ
みんなでききませう たのしくききませう

ニ、ラヂオ

一、朝のラヂオが申します、

「皆さんお早うございます。」

さあ始つた、ラヂオの體操

みんなでやりませう、

元氣にやりませう。

二、晩のラヂオが申します、

「皆さんお待ちどほでした。」

さあ始つた、子どもの時間。

みんなて聞きませう、

楽しく聞きませう。

二宮金次郎

♩ = 100

二宮金次郎

一 シバカリナハナヒワラヂヲツクリ
 二 ほねみををしましごとをはげみ
 三 カケフーダイジニツヒエヲハブキ

オーヤノヲラスケオトヲセワシ
 よーなべすましてならひとくし
 スコシノモノヲモソマツニセズニ

キャウーダ イナカヨクカウーカウーツクス
 せはしいなかにもたゆまずまなぶ
 ツヒニハミヲタテヒトラモスクフ

六

二宮金次郎

テホンハニノミヤ
 てほんはにのみに
 テホンハニのみに

キシンジラウー
 キンジラウー
 キンジラウー

三二宮金次郎

七

一、柴刈り、細なひ、草鞋をつくり、親の手を助け、弟を世話し、兄弟仲よく孝行つくす、手本は二宮金次郎。

二、骨身を惜しまず仕事をはげみ、夜なべ済まして手習讀書、せはしい中にも撓まず學ぶ手本は二宮金次郎。

三、家業大事に、費をはぶき、少しの物をも粗末にせず、途には身を立て、人をもすくふ、手本は二宮金次郎。

雲 雀

♩ = 132

雲
雀

一 ビ イ ビ イ ビ イ ト ナ ヘ ヅ ル ヒ バ リ
ニ ビ い び い び い と さ へ づ る ひ ば り

サ ヘ ヅ リ ナ ガ ラ ド コ マ テ ア ガ ル
さ へ づ り や ん て ど こ ら へ お ち だ

八

雲
雀

タ カ イ タ カ イ ク モ ノ ウ ヘ カ
あ を い あ を い む ぎ の な か か

コ ー ス ハ キ コ エ テ ミ エ ナ イ ヒ バ リ
す ー が た か く れ て み え な い ひ ば り

四、雲 雀

九

- 一、びいびいびいと囀る雲雀、
囀りながら何處まであがる、
高い高い雲の上か、
聲は聞えて見えない雲雀。
- 二、びいびいびいと囀る雲雀、
囀りやんで何處らへ落ちた、
青い青い麥の中か、
姿かくれて見えない雲雀。

折 紙

♩ = 72

折
紙

Musical score for the first system, piano accompaniment. It features a treble and bass clef with a key signature of one sharp (F#) and a 2/4 time signature. The music includes dynamic markings such as *mp*, *p*, and *pp*. There are also performance instructions like *rit.* and **.* at the end of the system.

Musical score for the second system, including a vocal line and piano accompaniment. The vocal line has the lyrics: 一 シ ロ イ カ ミ デ ナ ニ フ ラ ク 一 / ニ あ か い か み て な に を ら う 一. The piano accompaniment includes a dynamic marking of *p*.

Musical score for the third system, including a vocal line and piano accompaniment. The vocal line has the lyrics: フ タ シ ノ ス キ ナ ツ ル フ ラ ク 一 / わ た し の す き な ふ わ を ら う 一. The piano accompaniment includes dynamic markings of *mf*, *mp*, and *p*.

10

Musical score for the fourth system, including a vocal line and piano accompaniment. The vocal line has the lyrics: ソ ヨ ソ ヨ ハ ル カ セ フ イ タ ナ ラ / ゆ ら ゆ ら お ほ な み よ せ 祀 な ら. The piano accompaniment includes a dynamic marking of *p*.

Musical score for the fifth system, including a vocal line and piano accompaniment. The vocal line has the lyrics: タ カ ク オ ホ キ ク ハ バ タ イ テ / 祀 か く ま つ か な ほ を ほ つ て. The piano accompaniment includes a dynamic marking of *mf*.

Musical score for the sixth system, including a vocal line and piano accompaniment. The vocal line has the lyrics: ツ ク ツ ト ソ ラ マ デ ト シ ギ イ ケ / す い す い し ま ま て ほ し り 祀 せ. The piano accompaniment includes dynamic markings of *f* and *p*, and performance instructions like *rit.* and **.*

折
紙

11

五折紙

一、白い紙で何折らう、

私の好きな鶴折らう。

そよそよ、春風吹いたなら、

高く大きく

羽ばたいて、

つうつと、空まで飛んで行け。

二、赤い紙で何折らう、

私の好きな船折らう。

ゆらゆら、大波寄せたなら、

高く真赤な

帆を張って、

すいすい、島まで走り出せ。

小馬

♩ = 112

小馬

First system of the musical score for '小馬'. It consists of a vocal line on a single staff and a piano accompaniment on a grand staff (treble and bass clefs). The key signature has two sharps (F# and C#), and the time signature is 2/4. The tempo is marked as ♩ = 112. The piano part starts with a forte (f) dynamic and includes a 'tra' marking.

Second system of the musical score. The vocal line includes the following lyrics:
 - ハイ シイ ハイ シイ アユメヨコ = マン
 ニばか ばか ばか ばか はしれよ ころま

The piano accompaniment continues with a mezzo-forte (mf) dynamic.

Third system of the musical score. The vocal line includes the following lyrics:
 ヤマデモサカデモズンズン アユメ
 りれどもいそいでつまづ またいそいで

The piano accompaniment continues with a mezzo-forte (mf) dynamic.

一四

小馬

Fourth system of the musical score. The vocal line includes the following lyrics:
 オマヘカ ススメバワタシモススメ
 おまへか ころへばわたしもころふ

The piano accompaniment continues with a mezzo-forte (mf) dynamic.

Fifth system of the musical score. The vocal line includes the following lyrics:
 アユメヨコ アユメヨコ アシオトタカク
 はしれよ はしれよ ころはやうに

The piano accompaniment continues with a mezzo-forte (mf) dynamic.

六小馬

一、
 はいしい、はいしい、
 あゆめよ、小馬。
 山でも、坂でも、
 ずんずん歩め。
 お前が進めばわたしも進む。
 歩めよ、歩めよ。
 足音たかく。

二、
 ばかばか、ばかばか、
 走れよ、小馬。
 けれども急いで
 つまづくまいぞ。
 お前が轉べばわたしも轉ぶ。
 走れよ、走れよ、
 轉ばぬやうに。

(三) 馬の足音

一五

田 植

♩ = 120

田 植

ーシーロイスゲガサアカダスキ
ニーろゑるてさきもあしどりも

ンーロヒスガクノサヲトメガ
ふーしもぞろへてさをとめが

ウータフタウエノウタキケバ
うーたふたうゑのうたきけは

田 植

ソロクタソ、ロタヨサヲトメガソロタ
ことしはほうねんほにほがーさいて

イーネノヂホヨリナホソノタ
みーちのこぐさもこめかなる

七 田 植

- 一、 白い菅笠、赤だすき、
揃ひ姿の早少女が
歌ふ田植の歌きけば、
揃うた、揃たよ、早少女が揃た、
稲の出穂よりなほ揃た。
- 二、 植ゑる手先も、足取も、
節も揃へて早少女が
歌ふ田植の歌きけば、
今年は豊年、穂に穂がさいて、
路の小草も米かなる。

竹の子

♩ = 84

竹の子

一 クライ オウチノ トヲアケテ
ニ ひろい このよかうれしいか

コソ ソリ オモテヲ ミルヤウニ
ヤフ ぱり ひか げが こひしいか

ムツクリコ ムツクリコト ツチオシ アゲテ
むつくりこ むつくりこと つちおしあけて

一八

竹の子

タケノコ イッボン アタマヲ ダシタ
たけのこ ぐんぐん おほきくなつた

八、竹の子

一、くらしいおうちの戸をあけて、

こつそりおもてを見るやうに、

むつくりこ、むつくりこと

土おしあげて、

竹の子一本頭を出した。

二、廣いこの世がうれしいか、

やつぱり日影がこひしいか、

むつくりこ、むつくりこと

土おしあげて、

竹の子ぐんぐん大きくなつた。

一九

雨

♩ = 126

雨

一 フレフレアメヨ ミヤコノアメヨ
ニふれふれあめよ るなかのあめよ

ウ マヤク ルマノソウ ライ タエ ヌ
な す や き う り の は な さ き そ ろ ふ

11

マ ナ ノ ホ コ リ ノ シ ズ マ ル ホ ト ニ
は た け の つ ー ち の う る ほ ふ ほ ど に

雨

ア メ ヨ フ レ フ レ ホ ド ロ ク マ レ
あ め よ ふ れ ふ れ ほ ど よ く ふ れ

九、雨

一、降^レ降^レ雨^よ、都^の雨^よ。

馬^や車^の往^來絶^えぬ

町^の埃^のしづまる程^に

雨^よ降^レ降^レ、程^よく降^レ。

二、降^レ降^レ雨^よ、田^舎の雨^よ。

茄子^や胡^瓜の花^さき揃^ふ

畠^の土^のうるほふ程^に、

雨^よ降^レ降^レ、程^よく降^レ。

金 魚

♩ = 60

金
魚

一 ア カイ オホキナ ヒレユラ ユラト
ニ な が い み ごと な を を ふ り な が ら

キ ンギョ ハ オヨグ シヅカニ オヨグ
き んぎょ は う かぶ つづいて う かぶ

ミヅトリ カヘテ キレイニ ナツ タ ガラスノ
み な げ ん き よ く わ た し の や つ た ふ を た べ

三

金
魚

ナ カ デ タ ノ シ サウ ニ ウ レ シ サウ ニ
よー と う れ し さう に た の し さう に

一〇、金 魚

一、赤い大きな鯉ゆらゆらと
金魚は泳ぐ、静かに泳ぐ、

水とりかへて

きれいになつたガラスの中で、
たのしさに、うれしさに。

二、長い見事な尾を振りながら
金魚は浮かぶ、つづいて浮かぶ、

皆元氣よく

私のやつた歎をたべようと、
うれしさに、たのしさに。

三

蟬

♩ = 96

蟬

一 カミナリーカ トホクナール
ニ ヲフ たちか ひとしきり

フクトモナシニカセガフク
みどりのはからつゆがちる

キトイフキニハセミカナク
すしいこゑでせみがなく

二四

蟬

一、蟬

一、かみなりが

遠く鳴る。

吹くともなしに、風が吹く。

木といふ木には、蟬が鳴く。

二、夕立

ひとしきり。

みどりの葉から、露がちる。

涼しい聲で、蟬が鳴く。

三五

蛙と蜘蛛

♩ = 80

蛙と蜘蛛

一 シー タレ ヤ ナギニト ビツク カヘル
ニ かぜ ぶく こえ だにす をはる こぐも

ト ンテ ハ オ チ オ チテ ハ ト ビ
は つて は き れ き れて は は り

オ チテ モ オ チテ モ マ タト プ ホド ニ
き れて も き れて も ま はる ほ ど に

蛙と蜘蛛

ト ウトウ ヤ ナギニト ビツ イタ
と うと う こえ だにす をはつ た

一、蛙と蜘蛛

一、しだれ柳しだれやなぎに飛とびつつく蛙か

飛とんで落おち

落おちては飛とび

落おちても、落おちても、

また飛とぶほどに

とうとう柳やなぎに飛とびつついた。

二、風吹かぜく小枝こえだに巢くわを張はる小蜘蛛こぐも

張はつてはき

きれては張はり

きれても、きれても、

また張はるほどに、

とうとう小枝こえだに巢くわを張はつた。

こ た ま

♩ = 104

こ
だ
ま

一 オウ イ ト ロ ベ バ オウ イ ト コ ターヘ
ニ やあ い と よ べ ば やあ い と か へ し

ダ レ タ イ ハーバ ダ レ タ カヘーヌ
な ん た と い へ ば な ん た と ま ね る

ム カ フ ノ モーリニ ス ム モ ノーハ
む か ぶ の や ま に す む も の は

こ
だ
ま

ヒ ト カ キ ツ ネ カ キ ノ セ イ カ
ま ほ ぶ つ か ひ か せ ん に ん か

一三 こ た ま

一、おういと呼べばおういと答へ

誰だといへば誰だと返す。

むかふの森にすむものは

人か、狐か、木の精か。

二、やあいと呼べばやあいと返し、

何だといへば何だとまねる。

むかふの山にすむものは

魔法つかひか、仙人か。

ポ プ ラ

♩ = 120

ボ
ン
ラ

Musical notation for the first system on the left page, including vocal line and piano accompaniment. The piano part is marked *mp*.

Musical notation for the second system on the left page, including vocal line and piano accompaniment.

Musical notation for the third system on the left page, including vocal line and piano accompaniment. The piano part is marked *mf*.

|||

ボ
ン
ラ

Musical notation for the first system on the right page, including vocal line and piano accompaniment. The piano part is marked *mp*.

ユフ ヒニ モエテ エタ エタ ノ
てん まで とどく くらい かげ

Musical notation for the second system on the right page, including vocal line and piano accompaniment. The piano part is marked *mp*.

キンノキノハガ キラキラト
くらい こずゑが ひそひそと

Musical notation for the third system on the right page, including vocal line and piano accompaniment. The piano part is marked *mf*.

一タ カイソラニ ツツ タツ ポプラ
ニく らいよるに つつ たつ ほぶら

クレシサウニ フルヘテル
おほしさまとはなして

|||

一五 ボブラ

一、高い空に、つつ立つボブラ、

夕日にもえて、

枝枝の

金の木の葉が

きらきらと、

嬉しさにふるへてる。

二、暗い夜に、つつ立つボブラ、

天までとどく

黒い影

黒い梢が

ひそひそと、

お星さまと話してる。

かけっこ

♩=120

かけっこ

一 アツマレアツマレカケツコ
ニ こんどはかへりのかけっこ

ダメアテハムカフノマツノキダ
だ いまでたとこまでもどるのだ

三六

かけっこ

ロウイガヨケレバイチニサンマケルナ
よういがよければいちにさんまけるな

マケルナアカカテシロカテ
まけるなしろかてあかかて

三七

一六 かけっこ

一、集れ、集れ、かけっこだ。

目あては向かふの松の木だ。

用意がよければ、一二三、

まけるな、まけるな、

赤勝て、白勝て。

二、今度はかへりのかけっこだ。

今出たとこまで戻るのだ。

用意がよければ、一二三、

まけるな、まけるな、

白勝て、赤勝て。

案山子

案山子

♩ = 112

一 ヤ マダノ ナ 一カノ イツボン アシノ カカシ
ニ ヤ まだ の な 一カ の いつぱん あしの かかし

テ ン キ ノ ヨ イ ノ ニ ミ ノ カ サ ツ ケ テ
ゆ み や で お ど し て り き ん で を れ ど

ア サ カ ラ バ ン マ デ タ タ チ ド ホ シ
や ま で は か ら す が か あ か と わ ら ふ

三八

案山子

ア ー ル ケ ナ イ ノ カ ヤ マダノ カカシ
み ー み が な い の か や まだ の かかし

一七、案山子

- 一、山田の中の一歩足の案山子、
天氣のよいのに蓑笠着けて、
朝から晩までただ立ちどほし、
歩けないのか、山田の案山子。
- 二、山田の中の一歩足の案山子、
弓矢で威して力んで居れど、
山では鳥がかあかと笑ふ、
耳が無いのか、山田の案山子。

三九

か ん

♩ = 112

が ん

一 カンカク ル カンカク ル トンデ ク ル
 ニ そらをとぶ くもをとぶ ないて とぶ
 三 カンガイ ク カンガイ ク トンデ イ ク

mp

オホ キナガ ンハ サキニ チヒ サナカ ンハ アトニ
 さきのか んも ないた あとのか んも ないた
 チヒ サナガ ンハ サキニ オホ キナガ ンハ アトニ

mf

が ンカク ル が ンカク ル トンデ ク ル
 そらをとぶ くもをとぶ ないて とぶ
 カンガイ ク カンガイ ク トンデ イ ク

mp

一八 かん

- 一、雁が来る、雁が来る、飛んで来る。
 大きな雁はさきに、小さな雁はあとに。
 雁が来る、雁が来る、飛んで来る。
- 二、空を飛ぶ、雲を飛ぶ、鳴いて飛ぶ。
 さきの雁も鳴いた、あとの雁も鳴いた。
 空を飛ぶ、雲を飛ぶ、鳴いて飛ぶ。
- 三、雁が行く、雁が行く、飛んで行く。
 小さな雁はさきに、大きな雁はあとに。
 雁が行く、雁が行く、飛んで行く。

富士山

♩ = 06

富士山

一 アタマヲクモノウヘニダシ
ニおをぞらたかへくそびえたち

シハツノヤマヲミオロシテ
からたにゆきのきものきて

二四

富士山

カミナリサマヲシクニキク
かすみのすそを とほくひく

フジハニツボニイチャノヤマ
ふじはにつぼんいらのやま

四三

一九 富士山

一、あたまを雲の上に出し、
四方の山を見おろして、
かみなりさまを下に聞く、

富士は日本一の山。

二、青空高くそびえ立ち、
からだに雪の着物着て、
霞のすそを遠く曳く、

富士は日本一の山。

影法師

♩ = 80

影法師

一 ピヤノノオトニ アシナミソコヘ
ニ なかよし どうし てとてをひいて

ミン ナデ ナカヨク イク キヲ スレバ
ゆふ ひの こみちを かへ ると すれば

マツ クロ クロノ カゲ ボフーシ
な がい な がい か げ ぼ ふー し

四四

マツ パリ ソロツ テ フドツ テ ル
やつ ぱり ならん て ついて くる

影法師

二、影法師

一、ピヤノの音に足並そるへ、
みんなで仲よく遊戯をすれば、
まつくろくろのかげぼふし、
やつぱり揃つてをどつてる。

二、仲よし同志手と手をひいて、
夕日のこみちを歸るとすれば、
ながいながいかげぼふし、
やつぱり並んでついてくる。

四五

紅葉

♩ = 12

紅葉

一 アキノウエーヒニ ナルヤマモミータ
二 にはのながれに ちりうくもみち

コイモウスイモ カスーアルナカニ
なみにゆられて はなれてよつて

マツライロドルカヘグヤーツタハ
あかやきいろのいろさまざまに

ヤマノフモトノ スンモヤウー
みづのうへに も おるにしき

二、紅葉

一、秋の夕日に照る山紅葉、
濃いも薄いも数ある中に、
松をいろどる楓や葛は、
山のふもとの裾模様。
二、溪の流れに散り浮く紅葉、
波にゆられて離れて寄つて、
赤や黄色の色さまざまに、
水の上にも織る錦。

時計の歌

時計の歌

$J=02$

一 ト ケイ ハ ヲ サ カ ラ カ ッ チ ン カ ッ チ ン
 ニ と け い は ば ん で も か つ ち ん か つ ち ん

オ ン ナ ジ ヒ ビ キ テ ウ ゴ イ テ フ レ ド モ
 わ れ ら が わ ど こ で や す ん で を る ま も

ナ ツ ト モ オ ン ナ ジ ト コ ロ ヲ サ サ ズ ニ
 ら つ と も や す ま す い き を も つ が す に

四八

時計の歌

バ ン マ デ カ ウ シ ラ カ ッ チ ン カ ッ チ ン
 お さ ま で か う し て か つ ち ん か つ ち ん

三、時計の歌

一、時計は朝から、かつちん、かつちん、

おんなじ響で動いて居れども、

ちつともおんなじ所を指さずに、

晩までかうして、かつちん、かつちん。

二、時計は晩でも、かつちん、かつちん

我等が寢床で休んで居る間も、

ちつとも休まず、息をもつがずに、

朝までかうして、かつちん、かつちん。

四九

うちの子ねこ

♩ = 104

うちの子ねこ

一ウチノコネコハカイコネコ
ニうちのこねこはかはいこねこ

クビノコスズヲチリチリナラシ
くびのこすずをちりちりならし

スーニカラマニタモトニスガ
まーりとじやれてはえんからおちる

五〇

うちの子ねこ

三三 うちの子ねこ

一、うちの子ねこは
かはい子ねこ
くびのこすずを
ちりちりならし
すそにからまり、
たもとにすがる。

二、うちの子ねこは
かはい子ねこ
くびのこすずを
ちりちりならし
まりとじやれてはえんからおちる。

五一

雪

♩ = 92

雪

Musical score for the first system of 'Snow'. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The piano part is marked *mp* and features a steady eighth-note accompaniment in the right hand and chords in the left hand.

Musical score for the second system of 'Snow'. The piano part is marked *mf*. The lyrics are written below the vocal line.

一 ユ キ ヤ コン コ ア ラレ ヤ コン コ
二 ゆ き や こん こ あ ら れ や こん こ

Musical score for the third system of 'Snow'. The lyrics are written below the vocal line.

フツ テ ハ フツ テ ハ ズンズン ツ モル
ふつ て も ふつ て も ま だ ぶ り や ま ぬ

五二

雪

Musical score for the first system of the second page of 'Snow'. The lyrics are written below the vocal line.

ヤ マ モ ノ ハ ラ モ ツ タ バ ヲ シ カ ナ リ
い ぬ は よ ろ こ び に は か け ま は り

Musical score for the second system of the second page of 'Snow'. The piano part is marked *f*. The lyrics are written below the vocal line.

カ レ キ ノ コ ラ ズ ハ ナ ガ ナ ク
ね こ は こ に つ で ま る く な る

二四 雪

一、雪やこんこ、霰やこんこ。
降つては降つては、
ずんずん積る。

山も野原も綿帽子かぶり、
枯木残らず花が咲く。

二、雪やこんこ、霰やこんこ。

降つても降つても、

まだ降りやまぬ。

犬は喜び庭駆けまはり、

猫は火燵でまるくなる。

五三

梅に鶯

♩=100

梅
に
鶯

Musical score for the first system, featuring a vocal line and piano accompaniment. The tempo is marked as ♩=100. The piano part is marked *mp*.

ーヒノヨクアタルニハサキノ
ニなくのをきいてえんがはの

Musical score for the second system, featuring a vocal line and piano accompaniment. The piano part is marked *mp*.

カキネノウメがサイテカラ
かーごのなかでもうぐひすか

Musical score for the third system, featuring a vocal line and piano accompaniment. The piano part is marked *mp*.

五四

梅
に
鶯

マアサキテハウグヒスガ
かきねのほうーをながめては

Musical score for the first system of the second page, featuring a vocal line and piano accompaniment. The piano part is marked *mf*.

カハイイコエデホウホクキョウ
てうーしをあはせてほうほけきよう

Musical score for the second system of the second page, featuring a vocal line and piano accompaniment. The piano part is marked *mp*.

五五

二五 梅に鶯

一、日のよくあたる庭前の
垣根の梅が咲いてから、
毎朝来ては鶯が

かはいいい聲で

ほうほけきよう。

二、鳴くのを聞いて、縁側の

籠の中でも鶯が

垣根の方を眺めては、

調子を合はせて

ほうほけきよう。

母の心

♩=80

母の心

—アサ—ハヤクカラ キドバタテ
ニよる—おそくまで おくのまに

ハハハセイダス アラヒモノ
はははせいだす はりしごと

クラヒノナカニ アルハナーニ
ひざのうへには な—にかあ—る

母の心

コレハタラウ—ノコクラノハカマ
これはおほるのはれぎのはおり

タラウ—キノウ—ハウ—ンドウ—クワイテ
おほる あしたはひなさままつり

ド—ロニヨゴシタコノハカマ
き—せて やりたいこのはれぎ

二六 母の心

一、朝早くから井戸ばたで

母はせいだす洗物。

たらひの中にあるは何

これは太郎の小倉の袴

太郎昨日は運動會で

泥によごしたこの袴

二、夜遅くまで奥の間に、

母はせい出す針仕事。

ひぎの上には何がある。

これはお春の晴着の羽織

お春明日は雛様祭

着せてやりたいこの晴着

那須餘一

♩ = 88

那須餘一

Musical score for the first system, featuring a vocal line and piano accompaniment. The piano part includes dynamic markings *f* and *mp*.

一 ゲンペイショウ ブノハレノバショ
ニオホーギハヨフ ヒニキramekite

Musical score for the second system, including vocal line and piano accompaniment with dynamic marking *mf*.

ブウツハコノヤニサダマルト
ヒラヒラオチユクナミノウヘ

Musical score for the third system, including vocal line and piano accompaniment with dynamic marking *mp*.

六〇

那須餘一

ナスノヨイチハイツシンフラン
なすのよいちのほまれはいまも

Musical score for the first system on page 61, including vocal line and piano accompaniment with dynamic marking *mp* and *crca.*

ネラヒサダメテヒコウトイ
やしめのうらになりひびく

Musical score for the second system on page 61, including vocal line and piano accompaniment with dynamic marking *f*.

六一

二七、那須餘一

一、源平勝負の時の場所

武運はこの矢に定まると、

那須餘一は一心不乱

ねらひ定めてひようと射る。

二、扇は夕日にきらめきて

ひらひら落ちゆく波の上、

那須餘一の響は今も、

屋島の浦に鳴りひびく。

新訂
尋常小學唱歌
伴奏附

不許複製

第二學年用 定價金參拾四錢

昭和七年五月二十四日 印刷
昭和七年五月二十八日 發行

著作權者 文 部 省

發行者 東京市京橋區銀座一丁目五番地
大日本圖書株式會社

代表者 專務取締役 杉山常次郎

印刷者 東京市小石川區久堅町百〇八番地
大橋光吉

印刷所 東京市小石川區久堅町百〇八番地
共同印刷株式會社

發行所 東京市京橋區銀座一丁目五番地
大日本圖書株式會社
振替貯金口座(東京二一九番)電話京橋二七三番二七四番